

2 計画の進行管理

2 計画の進行管理

(1) 第2期環境基本計画後期行動計画

第2期環境基本計画後期行動計画は、ふじみ野市の豊かな自然環境と都市環境が調和する良好な環境を将来に引き継ぎ、また、地球環境保全などの環境課題に対し、市、市民、事業者が共通の目標を掲げ推進するために策定しました。

本計画は、施策の方向性である5つの「施策の柱」を定め、それぞれの柱ごとに、基本的な考え方と施策の展開を示し、その方向性にそって各主体が取り組み、より実効性あるものとするために行動指標を設定しています。

この行動指標は令和3年度を基準年度、令和9年度を目標年度として46の数値目標等を定め取り組んでいます。

(2) 令和6年度の進捗状況

第2期環境基本計画後期行動計画には46の行動指標がありますが、それぞれの達成の有無を「評価1※」としたところ、目標を達成できたものは31項目67%、途中の進捗状況も加味した「評価2※※」では86%でした。

※ 「評価1」

令和9年度の目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

※※ 「評価2」（進捗状況を加味した評価）

令和9年度の目標値に対し、達成済10点(100%達成)とし、その他の達成率については以下のとおりの採点として点数化しました。

達成率	点数
0%～9%	0点
10%～19%	1点
20%～29%	2点
30%～39%	3点
40%～49%	4点
50%～59%	5点
60%～69%	6点
70%～79%	7点
80%～89%	8点
90%～99%	9点

◎ 第 2 期環境基本計画・後期行動計画の進捗状況(令和 6 年度)

※ 「評価 1」：目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

※ 「評価 2」：達成 10 点(100%達成)、その他は 10%刻みで点数で評価。(例：0%～9%は 0 点、10%～19%は 1 点)。

大項目	施策	NO	行動指標	単位	現状 (令和 3 年度)	目標 (令和 9 年度)	令和 6 年度						所管課
							実績	[未達成理由]	評価 1	達成率	評価 2	課題・取組	
1－1	(1) 各世代でできる学習の場の提供	1	環境学習講座参加者数	人	492	622	688		○	100	10	身近な環境について興味を持つきっかけづくりとして、引き続き本事業の周知を図り、多くの市民の参加を募ることで、環境学習の底上げを図る。また、子どもだけではなく大人も参加しやすいメニューについて検討する。	環境課
		2	環境フェア参加団体数	団体・個人	0	30	41		○	100	10	令和6年度環境フェアでは、実行委員会・協力企業・ステージ出演等で多くの団体にご協力いただいた。引き続き多くの団体にご協力いただけるよう、努めていく。	環境課
		3	学校における環境教育	実施状況	小中全校で実施	小中全校で実施	実施		○	100	10	環境センター見学会では、年間で1,096名にご参加いただき、処理施設についてや分別の重要性を学んでもらっている。今後もこのような見学会を継続するとともに、親子で楽しく環境について学べるような講座も引き続き実施し、身近な環境について興味を持つきっかけづくりを強化する。	環境課
1－2	(1) 地域や団体が連携した環境事業の推進	4	環境協働事業を実施した環境活動団体数	団体	3	5	3	環境活動団体の不足によるため	×	60	6	継続事業が多く、新規事業や新規団体の参入が少ない。令和 6 年度は 1 団体と令和 7 年度の事業参加に向けた調整を行っている。新たな団体の参入を促すため、環境協働事業について、広く周知に努める。	環境課
		5	大学や企業と連携した環境学習事業	実施状況	実施	実施	実施		○	100	10	教育機関(文京学院大学)や企業(KDDI総合研究所)との連携した環境学習事業を行った。引き続き近隣の教育機関や企業と連携した事業運営を行っていく。	環境課
		6	地域環境美化自主活動延べ参加者数	人	4,901	6,568	6,026	参加率の低下によるため	×	91	9	地域クリーン推進員会議で、参加率を上げるためのアイデア等を共有し、改善に努める。	環境課
1－3	(1) 分かりやすい環境情報の提供	7	環境年次報告書の発行・市ホームページへの公表	実施状況	実施	実施	実施		○	100	10	市民への周知とともに、経年変化の把握の上でも引き続き毎年の発行に努める。	環境課
	(2) 環境調査の充実	8	環境調査の実施	実施状況	実施	実施	実施		○	100	10	経年変化や汚染・汚濁の傾向を見るうえでも引き続き、毎年の調査及び市民への周知を行う。	環境課
2－1	(1) 地球温暖化防止活動の推進	9	公共施設における屋外緑化、緑のカーテン等の設置施設数	施設	14	30	14	設置希望施設の不足によるため	×	46.7	4	緑のカーテン設置希望施設が横ばいであるため、公共施設に積極的に設置してもらえるよう、各施設に働きかけを行う。	環境課
		10	公共施設等の二酸化炭素排出量	t-CO2	32,159	24,281	31,767	新たな公共施設の稼働や、体育施設への空調設備の導入等の利便性向上のため。	×	5	0	目標達成に向け、二酸化炭素排出量の割合が高い家庭ごみに含まれる廃プラスチックの削減の取り組みも含め、温室効果ガス削減が期待できる環境政策について協議していく。 また、目標達成のために、再エネ設備の導入についても注視をしていく。	環境課

大項目	施策	NO	行動指標	単位	現状 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	令和6年度						所管課
							実績	[未達成理由]	評価1	達成率	評価2	課題・取組	
2-1	(1) 地球温暖化防止活動の推進	11	公用車の次世代自動車導入率	%	17.6	50	52.56		○	100	10	令和6年度に大幅なリース車両入替を行い、次世代自動車の導入を促進した。引き続き次世代自動車導入率の向上に取り組んでいく。	資産管理課
		12	学校給食における県内産食材の種類の割合	%	15.6	20	24.3		○	100	10	県内産食材の使用は食育の観点から促進しているが、コスト面の課題がある。	学校給食課
2-2	(1) 再生可能エネルギーの導入・利用促進	13	再生可能エネルギーの利用状況等の情報発信	実施状況	未実施	実施	実施		○	100	10	「ふじみ野市住宅用スマートエネルギーシステム導入促進補助金」をホームページで周知している。	環境課
		14	公共施設における太陽光パネルの設置	kW	55.48	110	65.58	設置に向け調査を行ったが、導入コストが大きいこと等から、令和6年度の設置を見送ったため。	×	59.6	5	ゼロカーボンシティ実現に向け、市の環境面及び財政面を考慮し、また新技術の普及を注視しつつ設置を検討する。	環境課
3-1	(1) 環境に配慮した交通体系整備の推進	15	市内循環ワゴン乗客数	人	70,032	85,900	124,850		○	100	10	令和5年4月から開始された新コースやダイヤ改正の影響により乗客数が増加した。コース・ダイヤ見直し後の運行についても安全・安心な運行を確実に実施する必要がある。また、利用者に対してアンケート調査を実施し、運行における課題の抽出並びに課題解決に向けた取組について検討を進める必要がある。	都市計画課
	(2) リサイクル(3R運動)の推進	16	リサイクル率(灰含む)	%	29.9	30.3	27.2	資源化可能な紙類などの可燃ごみへの混入が多くみられたため	×	89.8	8	ごみの排出量は減少しているがリサイクル率は概ばいとなっており、今後も市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。	環境課
		17	リユース事業の開催	実施状況	未実施	実施	実施		○	100	10	「リユース品回収キャンペーン」を実施し、まだ十分使えるものをごみとして捨てることなく、市がリユース品として引き取ることでごみの減量に繋げることができた。今後も市民がリユース品を持ち込める機会を設けるほか、ごみとして捨てる前にリユースを検討してもらうことで、さらなるごみの減量を目指す。	環境課
		18	集団資源回収量	t	335	416	295	新型コロナウイルスの流行以降、実施する団体が減少しているため	×	70.9	7	新型コロナウイルスの流行以降、実施する団体が減少しているため、団体の募集を強化に努める。	環境課
3-2	(1) 食品ロスの削減	19	食品ロス削減啓発ポスター等の発行	実施状況	未実施	実施	実施		○	100	10	食品ロスに関連するチラシを全戸配布し、市民の意識向上に努めた。また、ふじみ野市が1日に出す食品ロスを金額に換算するクイズなどに取り組んでもらうことで、食品ロスが身近で重要な環境問題であることを実感してもらうとともに、日常生活の中で食品ロスを減らす工夫などを考えてもらうことに繋げることができた。今後もさらなる周知の強化や事業の実施に努める。	環境課
	(2) 廃棄物減量化や適正処理の推進	20	焼却ごみ量	t/年	22,211	21,579	21,154		○	100	10	資源化可能な紙類などの可燃ごみへの混入が、家庭ごみ・事業ごみともにまだまだ多くみられることから、収集業者等と連携し、市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。また、生ごみの水切りについても引き続き推進していく。	環境課
		21	1人1日当たりのごみ量(家庭系)	g/人・日	591	584	546		○	100	10	平成30年度までは減少を続け、「1人1日あたりの生活系ごみ量が少ない市」5年連続県内1位を達成していた。令和6年度も設定していた目標値を大きく下回り、排出量は過去10年で最少となった。県内でも「1人1日あたりの生活系ごみ量が少ない市」の上位を維持する結果となっている。	環境課

大項目	施策	NO	行動指標	単位	現状 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	令和6年度						所管課
							実績	[未達成理由]	評価1	達成率	評価2	課題・取組	
3-2	(2) 廃棄物減量化 や適正処理の推進	22	不法投棄パトロールの実施	回	14	12	18		○	100	10	月1回を目安に不法投棄パトロールを実施した。また、市民の方から持ち去り等の問合せもいただいているので、そういった地域を重点的にパトロールするように努める。	環境課
		23	最終処分量	t	433	416	428	もやすごみの中に含まれる不適物・磁選物が多かったため。	×	97.1	9	埋立処分される不燃性残渣の量を減らすため、排出時の分別徹底やごみの発生量自体の減量について周知啓発を実施する。	環境課
		24	生ごみ処理容器販売件数	基	53	60	33	購入検討者の中に寸法等、条件に適さなかった案件や、既にある程度浸透しているなかでさらなるニーズ開拓に向け、幅広い世代の方に周知はしているものの、購入まで至らなかったため。	×	55	5	広報やホームページ内のペラنگdeキエーロ紹介ページを充実させ、認知度を上げる。市のイベント以外での販促活動についても検討していく。また、既に利用されているユーザーへのアフターケアを充実させる。	環境課
4-1	(1) 清潔で快適な 願いのあるまちづくり	25	ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーン	実施状況	実施	実施	実施		○	100	10	令和6年度も5月及び11月に実施した(年2回)。市民から「路上喫煙」や「ポイ捨て」の相談も寄せられているため、引き続き啓発を行う。	環境課
		26	犬の飼い方・しつけ方教室の実施	実施状況	未実施	実施	実施		○	100	10	狂犬病予防協会で実施している。参加者の満足度が高く、犬のマナー向上にもつながるため引き続き実施していく。	環境課
		27	TNR実施頭数	頭	150	180	110	近年のTNR実施により飼い主のいない猫の頭数が抑制されているため。	×	61	6	飼い主のいない猫のTNRに協力くださっている関係団体の活動に加え「ふじみ野市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金」の周知啓発を行い、市民によるTNR実施を促進する。	環境課
		28	道路清掃美化活動団体数(道路サポーターズ)	団体	9	10	8	団体の高齢化が進み、新たな活動団体が増えないため	×	80	8	団体の高齢化により活動を維持できなくなっている。新規登録団体を増やし、道路美化活動等を協働により維持管理を推進する。	道路課
	(2) 魅力あるまちなみ、景観の保全と創造	29	苦情があった空き地の未改善箇所数(年度末現在)	箇所	2	0	1	適正管理の通知を2度に渡り送付したが改善されなかったため。	×	0	0	通知によって改善してもらえなかった箇所が1件あった。引き続き、苦情があった空き地のほか、以前課題のあった空き地の一斉調査を定期的に行い、改善通知を送付する。	環境課
		30	屋外広告物除去作業回数	回	21	24	26		○	100	10	引き続き、屋外広告物に対し、必要な規制を行うとともに、定期的に無秩序なはり紙、立看板などの除去を行う。	道路課
	(3) うるおいとやすらぎの場の創出	31	公園等の面積	万㎡	39.5	39.5	39.5		○	100	10		公園緑地課
		32	公園等愛護会の数	団体	40	40	39	高齢化などの理由で活動困難により2団体が解散した。	×	98	9	愛護会の高齢化による活動困難で解散する団体が増えつつあるため、活動継続や新規設立に向けた支援について検討する必要がある。	公園緑地課
4-2	(1) 安全・安心住みあえるまちづくり	33	雨水貯留浸透施設の設置数	箇所	54	55	54	事業進行中のため	×	98	9	川崎地区にて調整池を築造中。完成目標は令和7年度。	上下水道課
		34	野焼きの防止(改善/指導の割合)	%	100	100	100		○	100	10	現場を確認して指導する必要がある、通報の受理から迅速な対応が求められる。	環境課

大項目	施策	NO	行動指標	単位	現状 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	令和6年度					所管課	
							実績	【未達成理由】	評価1	達成率	評価2		課題・取組
4-2	(1) 安全・安心住みあえるまちづくり	35	事業活動を行っている自治組織の割合	%	100	100	100		○	100	10	「できるひとが できるときに できることを」を合言葉にして、全ての自治組織が各自で事業活動（例：防犯活動や環境美化活動）を行っている。	協働推進課
		36	交通安全教室の開催回数	回	16	16	16		○	100	10	交通安全の啓発活動の一環とし、交通安全教室を開催し、交通事故防止の推進を図る。	道路課
		37	市が管理している道路照明灯等のLED化率	%	100	100	100		○	100	10	維持管理に係る人件費及び、維持管理費について軽減を図る。	道路課
	(2) 公害の未然防止・拡大抑制	38	大気環境基準達成率（二酸化窒素と浮遊粒子状物質）	%	100	100	100		○	100	10	大気汚染の最も基本となる数値であり、市民の健康を守るため継続した確認が必要である。	環境課
		39	河川環境基準達成率（生物化学的酸素要求量）	%	100	100	100		○	100	10	環境基準に定められた項目であり、市民の健康を守るため継続した確認が必要である。	環境課
		40	浄化槽維持管理状況の把握	実施状況	実施	実施	実施		○	実施	10	浄化槽法第11条の法定検査の受検が確認できていない浄化槽利用者へ適正管理をするよう通知書の発送を3年ごとに定期実施していく。	環境課
5-1	(1) 緑や水辺環境の保全	41	緑地保護地区面積	m ²	110,811	110,811	110,811		○	100	10		公園緑地課
		42	市民農園利用率	%	76.7	92.2	93.1		○	100	10	農業入門塾の利用者が修了後に市民農園を借りて耕作を継続していることや、物価高騰等の社会情勢により自家消費分を自作したいという意識が高まっている傾向がある。市民農園6カ所中5カ所の市民農園で利用率が96%を超えているが、令和6年度に開設した川崎市民農園の利用率が40%と低いため、開設者のシルバー人材センターと連携を取りながら周知を行い利用率の向上を図っていく。	産業振興課
		43	新河岸川の美化活動回数	回	2	3	1	天候不良により、実施することが出来なかったため	×	33	3	天候不良により実施することができなかった。身近な水辺空間(水路等)の自然保護や美化活動(清掃、草刈り等)により、水辺愛護の意識の向上を図る。	道路課
	(2) 生物多様性の保全	44	アライグマの捕獲数	頭	18	8	10		○	100	10	アライグマ出没数の減少により、R6年度は捕獲数が減少した。市民の申し出により、箱わなの貸し出しを行っており、多くの市民のニーズに対応するため、箱わなを増やす必要がある。	環境課
		45	新河岸川生息生物の把握（生物調査）	実施状況	実施	実施	実施		○	100	10	8月10日に新河岸川伊佐島橋付近において魚類調査を実施し、6目7科17種の魚類が確認された。市民に分かりやすい指標であり、継続実施が望ましい。	環境課
	(3) 美しい自然景観と歴史的資産の保全、調和	46	自然環境と調和した歴史、文化財に関する講座回数	回	2	2	3		○	100	10	権現山は徳川家康の伝承がある史跡でもあり、県内でも希少な古墳群と雑木林を保全し、歴史と文化、自然を体感できる場所として、「権現山古墳群史跡の森」を多くの人々に周知していきたい。史跡や自然の保護と利活用の両面から、維持管理の方策、市民対象事業の立案、ボランティアの育成などを検討するとともに、特に近年、敷地内の樹木の多くがナラ枯れの被害に遭い、かなりの本数を伐採したため、樹木の管理・育成も含め、全体の整備活用計画を立てる必要がある。	社会教育課

(3) 協働による環境協働事業の促進

第2期環境基本計画後期行動計画の施策の柱の1つである「学びと協働の推進」に基づき、環境活動団体が実施する環境協働事業の経費を助成することで、環境活動団体の育成等に努め、環境協働事業の推進を図ります。

①花と緑部会

1 提案事業名	緑のカーテン普及啓発事業
2 事業の目的と事業内容	SDGs 持続可能な開発目標の達成、カーボンニュートラルなどを目標に、環境ボランティア団体として、環境に関する事業を推進し貢献していく。特に、「緑のカーテン」普及啓発を通じ、二酸化炭素削減、省エネの必要性を広め、各家庭における環境問題への意識向上を図っていく。 主な事業内容 ・緑のカーテン用苗の無料配付 ・緑のカーテンモデル事業（市役所本庁舎） ・緑のカーテン・コンテスト、表彰式の実施
3 事業の期間	令和6年4月から令和6年10月まで
4 事業実施状況	
令和6年 5月8日	緑のカーテン用苗配布 市役所本庁舎及び大井総合支所にて各150組配布（600株）
5月13日～ 9月30日	緑のカーテンモデル事業として、市役所本庁舎玄関脇において、プランターへの植え付け、ネット等の設置、撤去等
10月19日	緑のカーテン・コンテスト表彰式（43点の応募から選定） 12月～2月にかけてふじみ野市・三芳町環境センターで展示
5 事業の成果	企業、団体、市民の皆様のご理解のもと、順調に事業を推進することができた。 当事業を推進したことで、多くの市民の方に省エネ活動に参加してもらい、また環境問題への意識向上を図ることができた。



②ごみ減量をすすめる会

1 提案事業名	ごみ減量推進事業
2 事業の目的と事業内容	ごみ減量を推進するために「ベランダ de キューロ」の利用者数を増やすための展示販売相談会を開催。 キューロ以外の生ごみ処理機の調査研究
3 事業の期間	令和6年4月から令和7年3月まで
4 事業実施状況	
令和6年 5月18日 6月24日 9月30日 10月19日 11月3日	展示販売相談会 エコラボフェスタ参加 ふじみ野市役所本庁舎 大井総合支所 環境フェア参加 産業祭参加
令和6年4月～ 令和7年3月	キューロ以外の生ごみ処理機の調査研究
5 事業の成果	展示販売相談会は、継続してきた結果市民に周知することができている。キューロ以外の生ごみ処理機を会員が使用した結果や成果を発表することができた。



③上福岡駅前に花と緑を育てる会

1 提案事業名	上福岡駅の駅前西口ロータリーエリア緑地帯の花壇化、維持管理事業
2 事業の目的と事業内容	・ふじみ野市の主駅玄関に相応しく、季節感に溢れた素敵な草花・花木がいつでも咲いている駅前西口ロータリーエリア緑地帯にすることを目的とする。 ・当該緑地帯を無理なくできる範囲で花壇化、草花・花木を植栽、季節感を有した素敵な緑地帯にすべく自主的・主体的に維持管理する。
3 事業の期間	令和6年4月から令和7年3月まで
4 事業実施状況	
令和6年4月～ 令和7年3月	毎週月曜日に上福岡駅西口ロータリーエリア緑地帯花壇を維持・管理、並びに花卉植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）を遂行。 事業参加者（登録者）38名 （毎週月曜日の作業会には10～20名が参加）
5 事業の成果	駅前西口ロータリーエリア緑地帯（仮称「2本桜緑地帯」及び「ホッケースティック緑地帯」）の雑草除去・石取除き、肥料蒔き、花を咲かせる草花の植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）、水遣り作業、並びに周辺清掃等々の適切な維持・管理により緑地帯花壇を確立した。 結果的に当該エリア及びココネ広場を通行利用する人達の心身を和ませ癒している。

